

令和6年度 学校経営計画

1 学校教育目標

「自主」「誠実」「実践」

普通教育と専門教育を徹底し、知・徳・体の調和のとれた全人教育を行い、豊かな人間性と正しい社会性の向上を期する。

2 学校の特徴

本校は大正13年に開校し、令和6年には創立百周年を迎える全日制高等学校である。地域の要請と様々な期待に応えるべく、地域に密着した学校づくりを進めている。現在、各学年において、普通科は3クラス、商業科1クラスを設置し、全校生徒数は471名である。多くの生徒は上級学校へ進学しており、就職者は10～20名程度である。普通科は、希望する進路に応じて、文系・総合文系・理系・総合理系の4類型を設け、さらに個別指導を充実することで多様な進路の実現を支援している。商業科においても、その専門性に応じて、経済系・会計系・情報系、さらには四年制大学への進学を目指す総合系の計4系統を設けている。

部活動では、インターハイ等の全国大会で数多くの優勝経験があるホッケー部を筆頭に、新聞部や吹奏楽部、甲子園出場経験のある野球部などが全国大会やブロック大会を目指しており、多くの部が活発に活動している。

3 学校の現状と課題

(1) 現状

素直で純朴、礼儀正しく品性のある生徒が多い。学習や諸活動については、教員主導となる傾向があり、主体的に取り組む意欲・態度や自己肯定感にやや物足りなさが感じられる。

(2) 課題

(ア) 学習活動

- ・生徒に学習習慣を定着させるとともに、ICT機器の活用も含め、主体的・対話的で深い学びを推進し、生徒の基礎学力の向上を図る。
- ・わかる授業を実践し、生徒に学ぶことの楽しさや意義を実感できる環境を整え、一人一人の資質・能力を伸ばす。
- ・生徒が生涯にわたって学び続ける基礎を作る。
- ・商業科における資格取得を支援する。

(イ) 学校生活

- ・基本的な生活習慣を確立させ、心身ともに健全な人格を育成する。
- ・情報モラル・セキュリティに関する意識を高揚させる。

(ウ) 進路支援

- ・生徒一人一人が自らの在り方・生き方を考え、主体的に自己実現に向けて取り組むようにする。

(エ) 特別活動

- ・社会の一員として、より良い生活を自主的に築く態度を育成する。

4 学校教育計画

項 目		目標・方針及び計画	
1	学習活動 重点1	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が学ぶことの楽しさや意義を実感できる ICT 環境を整え、生涯にわたって学び続け、学びを人生や社会に活かそうとする力や人間性を育成する。 ○商業科で学ぶ内容を活かし、より多くの上級資格が取得できるように支援する。
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ○各教員が専門性を高めるとともに、ICT の活用について研究・理解を深め、「主体的・対話的で深い学び」を推進する授業を工夫するとともに、教科指導力の向上を図る。 ○生徒はタブレットや教育用クラウドサービスの活用方法について理解し、使用することで、学習意欲を高め、基礎学力の向上を図る。 ○商業科では、授業で学んだ内容が資格取得につながることを認識させ、授業の中で知識・技術の習得を図る。放課後や休日の質問教室にて基礎基本の演習を多く行うことで上級資格の取得を図る。
2	学校生活 重点2	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○正しい判断力を養い、規則正しく責任ある生活態度を身につけ、心身とともに健全な人格の育成を目指す。 ○情報モラル・セキュリティに関する意識の高揚を図る。
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ○高校生活に目的意識を持たせ、基本的な生活習慣の確立と自らを律する心の育成を図る。 ○全校集会やホームルーム等の機会を通じて、善悪の判断や規範意識の向上と規律正しい学校生活の確立を図る。 ○生命の尊重や安全について、集会等のあらゆる機会に指導の徹底を図り、交通安全についてはマナーの遵守と危険防止への継続的な指導を行う。 ○インターネットやスマートフォンの使用のルールやマナーについて、生徒が策定したネットルール4箇条を遵守している割合を高める。 ○基本的な生活習慣の確立を目指し、心身の健康について主体的に考え行動するよう、広報活動や生徒保健委員会で調査・研究する。
3	進路支援 重点3	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒一人ひとりが自らの在り方・生き方を考え、主体的に自己実現に向けて、生徒自らが努力するよう支援する。
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ○適切な進学及び就職の指導を行い、進路意識の向上と早期の進路目標の設定に努める。 ○進路意識を高めると同時に、日々の学習の大切さを理解させ、自主的に家庭学習に取り組ませる。学習時間の記録を行い、生徒の学習内容や意欲などを把握し、適切なアドバイスを行う。 ○教員が積極的に進路の情報収集と情報共有を行い、進路実現に向けて学習指導、進路指導を効果的に行う。
4	特別活動 重点4	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○集団活動を通じて、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、社会の一員としてより良い生活を築こうとする自主的実践的な態度を育成する。 ○社会の諸問題を積極的に考察し、解決していこうとする姿勢を育成する。
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒会活動やホームルーム活動の主体的な活動を通して、自主・自律の生活態度を養い、明るい活力ある学校づくりに努める。 ○身近なボランティア活動への参加推進と参加しやすい環境づくりを工夫し、公共心を備え、地域の期待や信頼に応える人格の育成を図る。 ○部活動等の課外活動も大切な人間形成の場であると位置づけ、適切な支援と指導を行い、活動の活性化を図る。